



ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE

ロータリー：変化をもたらす

2017～18年度テーマ

中村ロータリークラブ

例会記録 (2017～2018)

会長/松田基

幹事/荒川泰士

会報委員長/星野努

創立/昭和38年10月2日

例会日/水曜日 12:30～13:30

例会場/新ロイヤルホテル四万十

事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F

TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553

●ホームページ <http://www.nakamura-rc.com/>

週報 No.2529

第2660回 平成30年2月21日(曇り)

本日のプログラム：会員スピーチ 大杉 幹夫会員

2月28日(水)：ゲストスピーチ 四万十市国際交流員

3月7日(水)：会員スピーチ

【会長挨拶】杉本 一博 会長エレクト

- ・皆さん、こんにちは。本日は、会長・幹事が欠席のため福原副幹事と代行いたします。
- ・今日は、『抜萃のつづり』という冊子を紹介いたします。毎年、皆さんに配布されロッカーに入っていたと思いますが、昭和6年に熊平源蔵氏が創刊したものです。現在77版。

例年通り、45万部を発行し、120カ国の日本大使館や諸官庁、金融機関、病院、ロータリークラブなど全国の団体・個人に寄贈。企業の創業者でもある熊平源蔵氏が社会への感謝・報恩の気持ちを表すために発行し、心にしみる感動、喜びを、より多くの方々に共感して頂ければと社会貢献の思いをこめ、戦中戦後の3年間を除き発行を続けています。明るい話題が少ない今日、少しでも皆様の心の支えになれば幸いです。ご一読ください。

- ・先週、告知した新会員候補に異議申し立ては、ございませんでしたので法人会員(サブ会員)として入会されます。

【上野 力様 (有)せいぶ印刷工房 専務取締役】

【幹事報告】福原 副幹事

- ・米山記念奨学会より
「ハイライトよねやま」215号 配信
2月4日に財団設立50周年記念式典開催
- ・宿毛RCより例会変更のお知らせ
3/1(木) 大島桜公園

【委員会報告・会員発言】◆白木財団委員長

本日、5名の方より寄付を頂きました。まだの方は、よろしくお願ひします。

◆田辺国際奉仕委員長

ユネスコ世界寺子屋運動への支援として、書き損じハガキ1,000枚以上や切手等が集まりました。ご協力ありがとうございました。



星野 努作 盆栽「緋梅」



【本日のプログラム】 会員スピーチ 大杉 幹夫会員



みなさん、こんにちは。プログラム委員長から、「樋口真吉」の話をしてくれとの事でした。

私が幕末の幡多の勤王志士達を知ったのは、ゲストスピーチに来ていた高知の歴史小説家の話を聞いてからでした。幕末の土佐の勤王志士といえば、坂本龍馬、中岡慎太郎、武市半平太ぐらいしか知りませんでした。日本の近代史の幕開けとなる武家政権の時代を終わらせる大仕事に関わった、人物が幡多にもいたことは全く知りませんでした。

私は歴史研究者でもありませんので、「龍馬の生まれた記念館」歴史学芸員の森本さん、龍馬記念館副館長の前田さん、「真吉日記」を現代語に翻訳した元徳島大学教授の渋谷先生に直接会いに行き、樋口真吉や幡多の志士達の話を知りました。歴史家の皆さんからは樋口真吉や幡多の幕末志士の功績をもっと中村で啓発して下さいとの言葉を頂きました。

文化12(1815)年11月8日に生まれた樋口真吉は、若い頃から剣術に優れ、砲術を学び、高い学識を持つ人物で、幕末動乱の中、坂本龍馬や中岡慎太郎、西郷隆盛にも会いながら、幕末史の局面を目撃、それを記録に残しています。ここ四万十市(中村)に剣術・砲術道場を開き県内外、近郊の他藩からも砲術の門弟が来ています。

龍馬や武市半平太より20歳ほど年上の樋口真吉は、鎖国体制が揺らぎつつあった幕末前夜の状況も目撃し、長崎などに行き外国の状況を知り、早くから砲術などを勉強しています。

特徴として、身分の低い武士の出身でありながら、土佐藩の上層部との関係も深く、また、志士たちの中には過激な行動を起こす若者も多くいた

中で、彼は沈着冷静な人物であり、情勢を慎重に見極めた人物であったと言われていています。

大阪で龍馬に会い、一両を渡したとの記録があります。史書に「真吉に出合ったのは、脱藩してから四ヶ月目、相当みずばらしい格好になっていたのではないだろうか。一両という恵みは龍馬にとって命拾いともいえる金額であったろうと察せられる。この頃の真吉の日記は非常に簡単な記述が多く、まるで暗号を見るような感じであるが、あるいは江戸では間崎哲馬に会うように示唆されたかも知れない。閏八月二十二日、江戸北辰一刀流千葉道場に草鞋を解いた龍馬は、二十六日には勤王党大幹部、間崎哲馬らと会っている。」と記述があります。

友人から、「なぜ樋口真吉を宣伝して、何の為にしようがぞ!」と、よく聞かれますが、幕末維新の立て役者は、坂本龍馬、中岡慎太郎、武市半平太、だけの様になっている。ここ幡多中村の幕末の志士も重要な構成員で大活躍している!と説明しています。

樋口真吉は戊辰戦争後に、新政府から長州、薩摩へ行き、西郷隆盛とキリスト教布教についての会談をした、と記録も残しています。

後に高知に帰ってから明治天皇の侍従長、徳大寺大納言に公設秘書官として要請され、最後は東京に住み、56歳で亡くなっています。

土佐藩下級武士の足輕の身分であった樋口真吉は、そんな重要な仕事をも任されるほどの優秀な人物であったと言う事を知って欲しいと思います。

私達がもっと幡多の古くからの歴史や人物を掘り起こして、歴史の大きな流れに向き合った、この偉大な先人を郷土の誇りとして、伝えて残して行く事も地域に貢献する大切な事ではと私は思っています。

国際の協力も大事ですが、地元の事も大切ではと思っています。ご協力お願いします。

【ニコニコ箱】

仙石会員：18日のゴルフコンペで優勝することができました。一緒にラウンドした佐竹さん、小松さん、

杉本さんありがとうございました。ただ、賞金王は大塚さんでした。残念、、、

大塚会員：先日のゴルフコンペで「大当たり」しました。

白木(一)会員：春の訪れを告げる緋梅(ひばい)が例会場登場。星野会員ありがとうございました。

星野会員：例会場に盆栽を飾らせていただきました。ありがとうございました。

【出席報告】・会員総数50名(免除会員4名)

・本日の出席/30名 66.67%

・先週の訂正 MU5 71.11%→82.22%